



2009・4・30

第124号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

草の根のせめぎあい制する運動を

分野別の「会」の交流会開く

「九条の会」は4月28日、分野別の「会」の交流会を開きました。会議では、それぞれの「会」のこの間の運動の交流のほかに、改憲勢力も草の根の運動づくりをめざしているせめぎあいのなかで、「九条の会」の運動はどうあるべきか、これまで3回開いてきた全国交流集会を今年はどうするかについても意見交換しました。また6月2日の「九条の会」講演会の成功をめざす取り組みについても確認しました。

以下、分野別の「会」の活動報告からいくつかを紹介します。

* * * * *

【映画人の会】 この間ずっと映画の上映会と学習会を続け、賛同者は1000人を超えた。いま検討しているのは、一般の人の映像作品を募集し、コンクールをおこない、入賞作品の上映会をおこなうことだ。

【農林・水産の会】 賛同者は2000人を超え、13道府県にも「会」ができ、食生活と平和の問題などでの学習をおこなっている。いま田植えの時期をむかえ、消費者と生産者が共同して古代米などを使った「九

「九条の会」講演会

—加藤周一さんの志を受けついで

◇とき 6月2日(火)午後6時30分

◇ところ 千代田区 日比谷公会堂

◇講師 井上 ひさし (作家)

大江 健三郎 (作家)

奥平 康弘 (憲法学者)

澤地 久枝 (作家) (現在確定分)

加藤さんのお連れあいの矢島翠さんも参加

◇参加費 前売り券1000円(郵便振替で送金していただければ参加券郵送)

講座番号 00180-9-611526 九条の会

◇当日券1500円(前売り券持参の方を優先して入場していただきます)

条たんぼ」の運動などに取り組んでいる。

【教育・子育ての会】 「会」のリーフやポスターを作製し、保育所や学校、地域に「会」をつくることをよびかけている。どういう形で教育・子育てと9条を結びつけて話し合いを広げていくかが課題だが、とくに子どもの貧困・生きていく権利をどう訴えていくかということが当面の問題だ。

【マスコミの会】 いったんした取り組みとしては、ホームページで時々の情勢の解説をおこなっている。6月にアメリカとの関係をどう見るかのシンポジウムを開くが、現場の記者に声をかけ、参加者を広げることが追求していきたい。

【科学者の会】 3月にノーベル賞受賞者の益川さんを講師に4周年のつどいを開いたが、九条の会につながりのなかった人も参加して活気ある集会になった。各大学の会の交流を重視しているが去年は20校、今年は40校集まった。全国に広げたい。

身近なところで話し合いの輪

【北海道・十勝】 3月22日、十勝地方で活動する「九条の会」が一堂に会し、『九条の会』交流会を帯広市で開きました。会では、「憲法と私」と題して3人のよびかけ人が憲法への思いを語りました。

帯広つくし会前会長の安達愛子さん（「九条の会」十勝よびかけ人）は、若田さんが宇宙で、イチローが大リーグが活躍していることと重ねて、女子挺身隊に志願した自分をふりかえり、「平和でない夢は果たせません」と訴えました。

芽室町実勝寺の内山智修さん（「九条の会」芽室よびかけ人）は、長崎での原爆体験をもつ祖母と、経営する幼稚園教育にふれ、「平和とは皆が仲良くするだけでなく、生と死と向き合い、命を大切にすることで」と説きました。

元中学校長の高野幸雄さん（「九条の会」幕別よびかけ人）は、憲法25条の生存権が脅かされている実態を告発。「憲法は60年前も今も世界に誇るトップモードです。けっして『古い上着』にはしてはいけません」とよびかけました。参加者からは、身近な

自衛艦で守らなくても…

「アデン湾・スエズ運河経由の航路はコンテナ船が主体で、石油や鉄鉱石、石炭などの産業用資源や、食料・生活物資の占める割合は極めて少ない。またヨーロッパ航路がスエズ運河を回避して、太平洋・パナマ運河経由では約2千マイル5日間、喜望峰廻りでも約3千マイル8日間の遠航となるが、運河通行料金や安全確保のための船団航行のための待機時間を勘案すると、運航上の負担は許容の範囲であると考え。事実、日本の海運大手企業は長距離輸送によって増加する燃料費とスエズ運河の通行料金は相殺されるし、船腹過剰の緩和にもつながると、喜望峰廻りを採用している」「私たちは、軍艦で護らなければならない海域に商船を就航させること自体に反対する」（海員九条の会「海上自衛艦のソマリア派遣と海賊対処法に反対するアピール」より）

人の感動的な話に元気をもらったとの感想も寄せられました。

【静岡県・伊豆市】 伊豆市9条の会はこのほど、「非核自治体宣言」をしている伊豆市で「戦跡めぐり」をしました。

小土肥地区にある栄源寺を出発し、朝鮮人の強制連行と強制労働が行われた土肥金山、「通り崎」岬の第15突撃隊（土肥特攻基地）の壕跡などをめぐりました。妙蔵寺では太平洋戦争中にビルマ戦線に従事し山野にさらされた戦没者の遺骨、遺品を収集して納めてあるパゴダ（塔）の説明を受け、「原爆の子」のモデル佐々木禎子さんの平和への祈りを伝える紙芝居「禎子と千羽鶴」を鑑賞しました。